

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市錦町計画 新築工事	階数	地上11F
建設地	平塚市錦町12番1、外5筆	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	350 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2021年12月27日
敷地面積	790 m <sup>2</sup>	作成者	(株)アト総合企画一級建築士事務所
建築面積	402 m <sup>2</sup>	確認日	2021年12月27日
延床面積	3,456 m <sup>2</sup>	確認者	(株)アト総合企画一級建築士事務所

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

環境品質 C

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

①参照値 100%

②建築物の取組み 93%

③上記②以外の 93%

④上記+ 93%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

Qのスコア = 2.9

LRのスコア = 3.3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

音環境 3.4 温熱環境 3.7 光・視環境 3.3 空気質環境 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性 2.5 耐用性 2.8 対応性 2.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

生物環境 2.0 まちなみ 2.0 地域性 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の 4.0 自然エネ 3.0 設備システ 4.6 効率的 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源 3.0 非再生材料の 2.6 汚染物質 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化 3.2 地域環境 2.9 周辺環境 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
敷地の形態上やむを得ず向きが北西向きが多いが、室内が極力暗くならないよう開口部(サッシ)を広くした。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 室内環境について、T-2仕様のサッシを採用している。また、断熱等性能等級4とし、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 0	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 0
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等性能等級4、建物全体BEI=0.87としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS下地を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO2排出率93%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される